

中国四国教育学会

第 27 回大会プログラム

昭和50年10月17日(金)・18日(土)

会場：愛媛大学教育学部

プログラムの訂正

1. P. 4 教育社会学部会 (2階202番教室)
2. P. 7 ○国祐道広 (広大学院) → ○国祐道広 (広島大学)
3. P. 14 (2) 9 : 20 合衆国初期社会科における統合の問題

原田智仁 (広大学院)

→ 合衆国における統合社会科の研究
— 統合の理論と歴史的背景 —

中国四国教育学会紀要原稿作成上の注意

原稿を校正する際に誤字以外の訂正ができなくなりましたので (印刷技術上)、
原稿作成に際しては、完全なものを提出してください。

参加者への御案内

1. 交通案内

- 船舶 松山観光港より「道後温泉」行きバスにて「上一万」下車、徒歩5分
- 列車 国鉄「松山駅」より「道後温泉」行き電車にて、「上一万」下車、徒歩5分
又は「環状線」電車にて、「日赤前」下車、徒歩2分

2. 受付

○第1日(17日) 第2日(18日)

- 受付場所 教育学部 玄関
- 参加章 受付でお渡しするリボンは会期中かならずおつけ下さい。
- 諸経費 大会参加費 400円 学会費 1,000円
紀要掲載費(原稿用紙代を含む) 8,000円
臨時会員 400円
- 懇親会費 2,500円(院生は2,000円)
会場:伊予鉄会館

3. 発表要領

- 研究発表 発表時間 15分, 質疑 5分
但し, 共同研究で二人以上発表する場合は, 発表時間30分, 質疑10分

4. 原稿

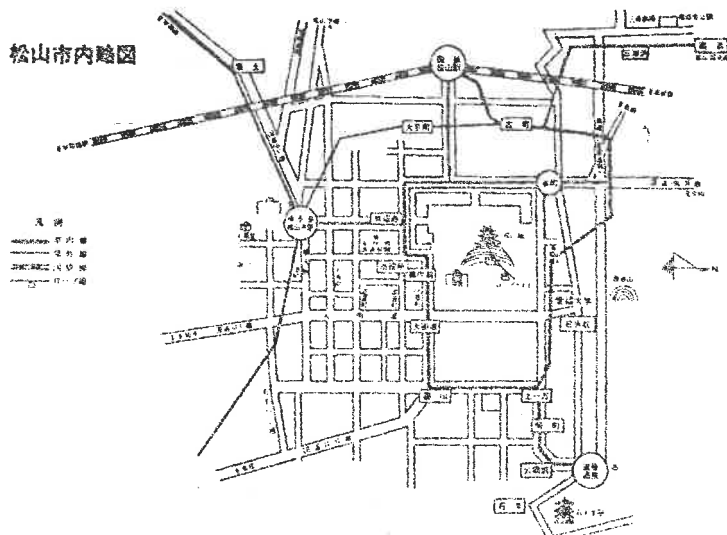
- 学会紀要に掲載する原稿は, 未発表のもので, 愛媛大会で発表したものに限りません。

5. その他

- このプログラムは大会当日かならず御持参下さい。
- 昼食は第一日, 第二日ともに学生食堂(第1, 第2)を各自ご利用ください。
但し, 食堂は7:30~18:00の間営業しております。
- 大会準備委員会の所在地:

() 790 松山市文京町3 愛媛大学教育学部教育学研究室
(電) 0899-41-7111 (代)

〈大会場案内図〉



大 会 日 程

10月17日(金)	10月18日(土)
<p>8:00 受付</p> <p>9:00 研究発表</p> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">教室番号</p> <p>第一会場 教育原理部会 (102)</p> <p>第二会場 教育原理・教育史部会 (103)</p> <p>第三会場 教育社会学部会 (202)</p> <p>第四会場 教育方法学部会 (203)</p> <p>第五会場 教育行政・教育経営部会 (204)</p> <p>第六会場 社会教育・職業教育部会 (301)</p> <p>第七会場 幼児教育部会 (401)</p> <p>第八会場 高等教育部会 (402)</p>	<p>8:30 受付</p> <p>9:00 研究発表</p> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">教室番号</p> <p>第一会場 教科教育部会 I (101)</p> <p>第二会場 " II (102)</p> <p>第三会場 " III (202)</p> <p>第四会場 " IV (203)</p> <p>第五会場 " V (304)</p> <p>第六会場 " VI (301)</p>
<p>9:30 課題研究</p> <p style="margin-left: 20px;">「教科教育学に期待するもの」</p> <p>11:30 (大講義室)</p>	<p>9:00 課題研究</p> <p style="margin-left: 20px;">「瀬戸内海沿岸地域の工業化と教育の諸問題」</p> <p>12:00 (大講義室)</p>
<p>13:00 シンポジウム</p> <p style="margin-left: 20px;">「附属学校の諸問題」 (大講義室)</p> <p>15:00</p> <p>15:30 懇 会 (大講義室)</p> <p>16:30</p> <p>17:00 懇 会 (伊予級会館)</p> <p>19:10</p>	

第一日午前

教育原理部会 (1階102番教室)

司会者 竹村金治 (徳島大学)

金谷 茂 (愛媛大学)

- | | | | |
|-----|-------|---------------------------------------|---------------|
| (1) | 9:00 | ペスタロッチーの自然思想と教育学 | 渡辺 満 (広大大学院) |
| (2) | 9:20 | W・ディルタイの歴史的世界観について | 中村 哲治 (広大大学院) |
| (3) | 9:40 | シュプランガーのソクラテス理解 | 秋本 泰博 (広大大学院) |
| (4) | 10:00 | 教授学における教育工学的研究の一考察
——西ドイツを中心に—— | 田代 尚弘 (広島大学) |
| (5) | 10:20 | プラグマティズムの探究論
——C・S・パースの探究論を中心にして—— | 上寺 常和 (広島大学) |

休憩 (10分間)

- | | | | |
|-----|-------|----------------------------------|----------------|
| (6) | 10:50 | 客観的価値論の問題点 | 実松 宣夫 (山口大学) |
| (7) | 11:10 | 現代教育と「名誉の問題」 | 片山 光宏 (岡山女子短大) |
| (8) | 11:30 | 英知と教育 | 小松 昌幸 (長崎大学) |
| (9) | 11:50 | 雑誌『教育』の編集とアロイス・フィッシャー
の教育学的立場 | 林 忠幸 (福岡教育大学) |

総括及び討論 (30分)

第一日午前

教育原理・教育史部会（1階103番教室）

司会者 原 聡 介（岡山大学）
影 山 昇（愛媛大学）

- | | | | |
|------|-------|---|---------------|
| (11) | 9:00 | オープン・スクールに関する一考察 | 小野 由美子（広大大学院） |
| (12) | 9:20 | マカレンコ教育思想の形成過程 | 岩崎 正 吉（広大大学院） |
| (13) | 9:40 | ルソーの教育思想
——良心の問題—— | 伴野 昌 弘（広大大学院） |
| (14) | 10:00 | 中世イタリアにおける Licentia
Docendi の歴史的変容に関する一考察
——G・Manacooda の見解を中心に—— | 児玉 善 仁（広大大学院） |
| (15) | 10:20 | 西欧中世における司教座聖堂とその教育目
——Liègeにおける教師職の発展を
中心として—— | 松浦 正 博（広大大学院） |

休 憩（10分間）

- | | | | |
|------|-------|---|----------------|
| (16) | 10:50 | フェルマー法（1850年）の成立過程 | 田村 滋 男（広大大学院） |
| (17) | 11:10 | 大教宣布運動における教化結社としての教会 | 大林 正 昭（広大大学院） |
| (18) | 11:30 | 明治期における庶民教育の実態
——中等教育の機会にめぐまれなかった者
の教育とその目的—— | 倉田 規 司（鈴妻女子短大） |

総括及び討論（30分）

第一日午前

司会者 野津良夫(島根大学)

宮本七郎(聖カタリナ女子短大)

- (1) 9:30 教師の葛藤に関する研究 (III)
——教師と児童・生徒の人間関係を
中心にして—— 南本長穂 (広大大学院)
- (2) 9:20 マートンの科学の社会学 新富康央 (広大大学院)
- (3) 9:40 G・C, Homans 研究序説 榎谷由夫 (広大大学院)
——理論的特徴とその現代的意義——
- (4) 10:00 社会変動と自我形成との関連に関する一考察 伴恒信 (広大大学院)
- (5) 10:20 社会移動による下層集団の社会意識と教育期待 津川淳 (福山市立
女子短期大学)

休憩(10分間)

- (6) 10:50 集団の意志決定への一考察 中原実道 (福山市立
女子短期大学)
- (7) 11:10 高等専門学校における教官の問題(その2) 葉柳正 (山口大学)

総括及び討論(30分)

第一日午前

教育方法研究会（2階203番教室）

司会者

笹本正樹（香川大学）

武田正浩（今治明德短期大学）

- | | | | |
|-----|-------|---|--------------|
| (1) | 8:00 | 幼児教育における「教授」概念の検討 | 上野ひろ美（広大大学院） |
| (2) | 9:20 | 能力発達に関する教授学的研究 | 寺尾慎一（広大大学院） |
| (3) | 9:40 | 西京における教科課程論についての一考察 | 小野松男（広大大学院） |
| (4) | 10:00 | 授業における知的能力発達の研究（2） | 藤原幸男（広大大学院） |
| (5) | 10:20 | 研習過程の社会心理学的アプローチ（その3）
——集団における指導機能とその訓育的意義—— | 折出健二（広大大学院） |

休憩（10分間）

- | | | | |
|-----|-------|-------------------|--------------|
| (6) | 10:50 | 授業におけるコトバの問題 | 阿部好策（広島大学） |
| (7) | 11:10 | アメリカのカリキュラム研究（2） | 武田敏一（徳島文理大学） |
| (8) | 11:30 | アメリカにおける教育研究の史的展望 | 岡本一平（高知大学） |

総括及び討論（30分間）

第一日午前

教育行政・教育経営部会（2階204番教室）

司会者 利光道生（広島大学）

黒田幸弘（愛媛大学）

- (1) 9:00 ヴァージニア州のLiterary Fundに関する 川地洋一（広大大学院）
一考察
——トマス・ジェファソンとの関連で——
- (2) 9:20 米国の教育行政の理論研究 河野和清（広大大学院）
——クリス・アージリスの組織論を中心にして——
- (3) 9:40 教育工学基礎研究 ——その現状と課題—— 林嘉樹（広大大学院）
- (4) 10:00 教職の専門職性に関する基礎的考察 山崎清男（広大大学院）
——教職における自律性について——
- (5) 10:20 近代日本教員養成制度史 国祐道広（広島大学）

休憩（10分間）

- (6) 10:50 H・ニックリッシュの経営理論研究 織田成和（広大大学院）
- (7) 11:10 マレーシアの教育行政 石井均（広大大学院）
- (8) 11:30 米国中等教育の礎石形成期における全米教育
協会（NEA）の役割 田代直人（広島大学）
- (9) 11:50 米国公教育の要因とその性格（Ⅶ） 中嶋邦彦（鳥取女子大学）

総括及び討論（30分）

第一日午前

社会教育・職業教育部会 (3階301番教室)

司会者 居村 栄 (岡山大学)
遠山 順一 (愛媛大学)

- | | | | |
|-----|-------|--|---------------|
| (1) | 9:00 | インドネシアの文化と教育 | 西村 重夫 (広大大学院) |
| (2) | 9:20 | アメリカ合衆国における公共図書館の研究 | 中島 正明 (広大大学院) |
| (3) | 9:40 | シヤトカーを中心とする大学拡張運動の展開 | 小池 源吾 (広大大学院) |
| (4) | 10:00 | 西ドイツにおける青少年教育に関する研究
——教育休暇法Bildungsurlaubsgesetz
をめぐって—— | 土井 利樹 (広大大学院) |
| (5) | 10:20 | デンマーク国民大学運動と労働者教育 | 佐々木 正治 (広島大学) |

休憩 (10分間)

- | | | | |
|-----|-------|---|---------------------|
| (6) | 10:50 | 高知県における青年運動の研究 (その5)
——最近の青少年対策の動向—— | 吉富 啓一郎 (高知大学) |
| (7) | 11:10 | 各種学校の実態と問題点IV | 岸本 幸次郎 (広島大学) |
| | | ○中島 正明 (広大大学院) | 佐々木 正治 (広島大学) |
| | | ○山崎 清男 (広大大学院) | 小池 源吾 (広大大学院) |
| | | ○国崎 通法 (広大大学院) | 土井 利樹 (広大大学院) |
| | | 石塚 豊 (広教大学) | ソディク・A・クントロ (広大大学院) |
| | | | (○印 発表者) |

総括と討論 (30分)

幼児教育部会（4階401番教室）

司会者 秋山和夫（岡山大学）
田中享胤（松山東雲短期大学）

- | | | | |
|-----|-------|---|--------------------|
| (1) | 9:00 | ソビエトの就学前教育における知育について | 岡本恭枝（広大大学院） |
| (2) | 9:20 | ワイマール共和制下の幼稚園行政
——1922年のドイツ国青少年福祉法
を中心に—— | 米村佳樹（広大大学院） |
| (3) | 9:40 | 東独の幼稚園教育に関する研究(2) | 小林和子（福山市立
女子短大） |
| (4) | 10:00 | 幼児の社会的言語活動に関する研究II | 田中享胤（松山
東雲短期大学） |
| (5) | 10:30 | M・モンテッソーリ教育に関する一考察（その2） | 岡本和子（美作短期大学） |

休憩（10分間）

- | | | | |
|-----|-------|---|--|
| (6) | 10:50 | 象徴能力形成における想像遊びの役割
——幼児教育と遊び2）—— | 森 樹（広島大学） |
| (7) | 11:10 | 保育内容の組織化の実証的研究（その2）
——現行保育カリキュラムの問題点と
再編の方向—— | 佐藤正夫（倉敷市立
短期大学）
小野浜子（倉敷市民生協）
三好敏江（倉敷市立
短期大学）
小林和子（福山市立
女子短大） |

総括及び討論（30分）

第一日午前

高等教育部会 (4階402番教室)

司会者 池端次郎 (広島大学)

門前貞三 (松山商科大学)

- (1) 9:00 中国の半労半農学校制度に関する一考察 大塚 豊 (広人大学院)
- (2) 9:20 新制大学院制度に関する一考察 養祖京子 (広島大学)
- (3) 9:40 シモンズ・カレッジにおける職業教育(その1) 徳本達夫 (広島大学)
Simmons College
——アメリカ女子高等教育史研究(III)——
- (4) 10:00 1828年のYale Report 佐野正周 (広島大学)
- (5) 10:20 Tripos制の成立過程(2) 安原義仁 (広島大学)
——B・A・学位コースの分化・多様化——

休憩 (10分間)

- (6) 10:50 大学の誕生に関する一考察 大森定光 (農林省
水産大学)
- (7) 11:10 大学の社会的機能 (1) 柴田啓介 (岩国短期大学)
——19世紀前半の大学卒業生の動態
よりみた——

総括及び討論 (30分)

課題研究 (大講義室)

「教科教育学に期待するもの」

9:00

?

11:30

司会者 垣田直己 (広島大学)

長谷川孝士 (愛媛大学)

提案者 長田久男 (岡山大学)

片山嘉雄 (岡山大学)

伊東亮三 (広島大学)

平林一栄 (広島大学)

堀越和衛 (愛媛大学)

萩原仁 (広島大学)

第一日午後

シンポジウム (大講義室)

「附属学校の諸問題」

13:00

?

15:00

司会者 稲井 広吉 (四国学院大学)
堀 田 節 好 (愛媛大学)

出席者 山 川 敬 行 (広大教育学部
付 属 福 山
中・高等学校)

野 津 良 夫 (島根大学)

三 好 信 浩 (広島大学)

教科教育部会 I (4階401番教室)

司会者 大槻和夫(広島大学)

長谷川孝士(愛媛大学)

- | | | | |
|-----|-------|---|----------------|
| (1) | 9:00 | 「尋常 <small>小学</small> 綴方教授書」(芦田恵之助)について | 野地潤家 (広島大学) |
| (2) | 9:20 | 京都府における「赤い鳥」綴り方 | 木下紀美子 (京都教育大学) |
| (3) | 9:40 | 「新しい綴方教室」の成立 | 竹本伸介 (広大大学院) |
| (4) | 10:00 | 読み方教育の原理的考察
——教科理論のばあい—— | 柏谷倫生 (広大大学院) |
| (5) | 10:20 | たどり読みについての一考察
——時枝誠記博士のばあい—— | 吉田裕久 (広大大学院) |

休憩(10分間)

- | | | | |
|-----|-------|---------------------------------|-----------------|
| (6) | 10:50 | 読書指導論の一考察
——倉沢栄吉教授のばあいを中心に—— | 小森茂 (広大大学院) |
| (7) | 11:10 | 1920年代の読み方教育 | 大田勝司 (廣大附高) |
| (8) | 11:30 | 国語科教材論 | 足立悦男 (廣大附高) |
| (9) | 11:50 | 中等国語教材史からみた島崎藤村作品の研究(3) | 橋本暢夫 (広島県教育委員会) |

休憩(50分間)

- | | | | |
|----|------|--|---------------|
| 00 | 1:00 | 国語科授業理論の研究 | 広瀬節夫 (広大大学院) |
| 01 | 1:20 | 小西健二郎氏の教育・国語教育論 | 青原稔 (武蔵川女子大学) |
| 02 | 1:40 | 柳田国男の国語教育論(6) | 小山清 (廣大附高) |
| 03 | 2:00 | 国語教育における地域性の問題(6)
——教育ルポルタージュの構造(2)—— | 中瀬正亮 (鳥取大学) |
| 04 | 2:20 | 連文教育の内容と方法(1) | 長田久男 (岡山大学) |

休憩(10分間)

- | | | | |
|----|------|---|---------------|
| 05 | 2:50 | アメリカにおける言語治療教育
——吃音児とその治療に関する研究の動向
を中心に—— | 足立茂美 (広島大学) |
| 06 | 3:10 | 中国(台湾)の国語教科書
——中学校のばあい—— | 南本養一 (福岡女子短大) |
| 07 | 3:30 | ドイツ民主共和国の国語教育
——「小説」の取り扱い—— | 大槻和夫 (広島大学) |

総括及び討論(30分)

第二日午前

教科教育部会Ⅰ（4階402番教室）

司会者 垣田直己（広島大学）
高槻貞夫（愛媛大学）

- | | | | | |
|-----|-------|--|------|--------------------|
| (1) | 9:00 | 日英対照研究と英語教育 | 山田純 | (広大学院) |
| (2) | 9:20 | On Writing
—— English vs. Japanese —— | 北内薫 | (広大学院) |
| (3) | 9:40 | 日本人学習者の英語聴き取りの困難点 | 伊東治己 | (広大学院) |
| (4) | 10:00 | 外国語の言語適性と聴取能力について | 中村嘉宏 | (ノートルダム
清心女子短大) |
| (5) | 10:20 | 伝達モデルとMicro-sociolinguistic
factors | 西田正 | (新潟大学) |

休憩（10分間）

総括及び討論（30分）

教科教育部会Ⅲ（2階202番教室）

司会者 内海 巖（比治山女子短大）
森分孝治（広島大学）

- | | | | |
|-----|-------|---|-------------------|
| (1) | 9:00 | 社会科探求学習における内容構成
——B・G・マシャラスの場合—— | 小原友行（広大大学院） |
| (2) | 9:20 | 合衆国初期社会科における統合の問題 | 原田智仁（広大大学院） |
| (3) | 9:40 | アメリカ新社会科における教材構成論 | 金子邦秀（広大大学院） |
| (4) | 10:00 | アメリカ社会認識教育論史研究
——フラッド=ウッド プロジェクトに
ついて—— | 森原豊（広島県立
竹原高校） |
| (5) | 10:20 | ホルトデータバンクシステムにおける歴史
のとりあつかい | 藤井千之助（広大東郷分校） |

総括及び討論（30分）

第二日午前

教科教育部会Ⅳ（2階203番教室）

司会者 寺川智祐（広島大学）

田羅征伸（岡山大学）

- (1) 9:00 フランスの初等科学教育の内容 石田俊夫（広大大学院）
——ランジュバン改革以後を中心として——
- (2) 9:20 ソビエトの理科教育の内容 山路裕昭（広大大学院）
——自然科を中心に——
- (3) 9:40 アメリカ初等科学教育の内容 野上智行（広大大学院）
——その歴史的考察——
- (4) 10:06 イギリス理科教育の特質 室長大応（広大大学院）
——SCISPの特色と問題点を中心として——

休憩（10分間）

- (5) 10:30 学習における観察成立の基礎的要因の分析的 〇角屋重樹（広大大学院）
研究（その1） 小山裕（広大大学院）
松本勝信（広島大学）
- (6) 10:50 学習における観察成立の基礎的要因の分析的 〇小山裕（広大大学院）
研究（その2） 角屋重樹（広大大学院）
松本勝信（広島大学）
- (7) 11:10 学習における観察成立の基礎的要因の分析的 〇松本勝信（広島大学）
研究（その3） 角屋重樹（広大大学院）
小山裕（広大大学院）

総括及び討論（30分）

第二日午前

教科教育部会 V (2階204番教室)

司会者 平林 一栄 (広島大学)
林 昭 (愛媛大学)

- | | | | |
|-----|-------|--|---------------|
| (1) | 9:00 | 「数学化」——その教育的課題 (I) | 岩崎 秀樹 (広大大学院) |
| (2) | 9:20 | 「数学化」——その教育的課題 (II) | 国本 景亀 (広大大学院) |
| (3) | 9:40 | 現代化の教育理念の反省 | 重松 敬一 (広島大学) |
| (4) | 10:00 | イギリスのSMPについて | 植村 哲郎 (大分大学) |
| (5) | 10:20 | キズネールの棒について
——ガッテニョの見解 —— | 林 昭 (愛媛大学) |
| (6) | 10:40 | 「数学教育の人間化」の問題点
——D. Wheelerの論説に関連して—— | 平林 一栄 (広島大学) |

総括及び討論 (30分)

第二日午前

教科教育部会 VI (3階301番教室)

司会者 三浦洋司 (美作女子大)
山下智恵子 (香川大学)

- | | | | |
|-----|-------|---|---------------|
| (1) | 9:00 | 「音楽利害 (一名楽道修身論)」の研究 | 竹内俊一 (広大大学院) |
| (2) | 9:20 | 音楽的能力の概念に関する研究 | 吉田孝 (広大大学院) |
| (3) | 9:40 | 広島県音楽教育の史的考察 (その二) | 寺本和則 (倉敷市立短大) |
| (4) | 10:00 | 高等学校家庭科教育内容に関する研究
—— 家族関係領域と家族関係学 —— | 木村純子 (広大大学院) |
| (5) | 10:20 | 家庭科教育内容の構成に関する研究
—— (第一報) —— | 中妻静子 (広大研究生) |

休憩 (10分間)

- | | | | |
|------|-------|--------------------------------------|---------------------------|
| (6) | 10:50 | 被服教育に関する史的考察
—— 木下竹次の裁縫学習法の一考察 —— | 松浦道子 (島根大学) |
| (7) | 11:10 | 高等学校家庭科教育における
「家庭一般」成立過程について(3) | 山下智恵子 (香川大学) |
| (8) | 11:30 | 体育授業のコミュニケーションシステム | 佐藤善治 (広大研究生) |
| (9) | 11:50 | 教授 — 学習過程における運動行動の組織化 | 坂本和文 (福山市立
女子短大) |
| (10) | 12:10 | 幼児の運動技能の発達について | 吉川和利 (筑波大学) |
| (11) | 12:30 | 体育科教育のシステム化に関する理論研究(1) | 萩原仁 (広島大学)
松岡重信 (広島大学) |

総括及び討論 (30分)

課題研究(大講義室)

「瀬戸内海沿岸地域の工業化と教育の諸問題」

司会者 平木 正直 (徳島大学)

安田 正夫 (岩国短期大学)

9:00 工業化の教育に与える影響
12:00

新堀 通也 (広島大学)

○片岡 徳雄 (広島大学)

○森 悌 (広島大学)

人口動態の教育の諸問題

○松本 正達 (鳥取大学)

○後藤 誠也 (鳥取大学)

○遠藤 盛男 (鳥取大学)

水島地区における子供の生活とその変容

○秋山 和夫 (岡山大学)

大羽 兼 (岡山大学)

南条 正明 (岡山大学)

保江 正義 (前岡山大学)

学校統廃合に関する研究

溝 淵 義雄 (高知大学)

○三輪 定寛 (高知大学)

○吉富 啓一郎 (高知大学)

学校教育環境に及ぼす工業化の影響調査

○井上 久雄 (広島大学)

三好 信浩 (広島大学)

寄田 啓夫 (広島大学)

○徳本 達夫 (広島大学)

○大林 正昭 (広島大学院)